

ハラールという戦略上の選択肢

データで読み解く訪日ムスリム客の動向

第5回

これまでの4回では訪日ムスリム（イスラム教徒）客をターゲットに見立て、さまざまな独自データを用いて彼らの動向を分析してきました。今回は逆の、供給者側の状況に注目してみましょう。「ハラール」「ムスリム対応」といった言葉を頻繁に目にすることになった昨今、訪日ムスリム客を取り巻く状況はどうなっているのでしょうか。

地方にも広がるムスリム地図



まず、紹介するのはムスリムマップです。これはハラールメディアジャパンが制作している、特定エリアにおけるムスリム対応店舗を英語で紹介しているもので、北から札幌、台東区（浅草・上野）、新宿、京都、大阪版を発行しています。ハラールメディアジャパンはウェブとアプリを主体に情報発信していますが、「手に持つて歩けるマップが欲しい」との読者の声に応えたものです。

内容はムスリム対応しているレストラン、お土産店、お祈りスペース、観光名所、その他の役立ち情報を掲載しています。レストランは何料理（どこの国の料理）かに加え、ハラール、ベジタリアン、ビーガン（完全ベジタリアン）といった内容を一目で分かるように紹介しています。訪日時の心配事のトップであるムスリムの食事とお祈りスペースの問題を解決しているだけでなく、そのエリアの中をブラブラしてもらえるよ

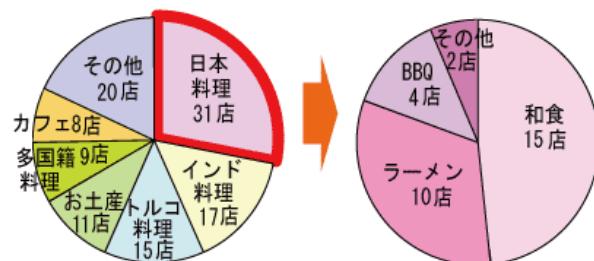
うに面展開を意識した作りとしています。

意外だったのは、ムスリムだけでなく、一般の外国人客にも利用されているという点です。英語対応している店舗を掲載しているのが重宝されているようです。それが影響してか、最近は地方都市から「ムスリムマップを制作してほしい」との声が増えています。ハラール認証を最高峰と捉えながらも、まずはできることから対応していこうという都市が増えているのです。実際、大阪版の次は、Obihiro Map for Muslims（帯広版）を年内に発刊する予定です。

「渴望ニーズ」を取り込め

需給のミスマッチが起こっているため、ムスリム対応した日本食レストランが参入する余地は大きい
ムスリムマップ掲載店舗数の内訳

全店舗の内訳（全111店舗） 日本料理レストランの内訳（31店舗）



データ札幌、台東区（浅草・上野）、新宿、京都、大阪Map for Muslims 2016年5月末日現在

次に掲載店舗の内訳を見てみましょう。供給者はどんな料理のレストランなのでしょうか。掲載数の1位は日本料理、2位はインド料理、3位はトルコ料理となっています。すでに日本料理が1位であるとはいえ、母数は圧倒的に多いはずですので、この数字は今後さらに飛躍的に増えると予想されます。実際のところ、ムスリム対応の日本料理レストランは相対的にまだ少ない、すなわち需要に対して供給が不十分だと考えられるのです。

前回紹介したデータ「日本でやりたいことトップ10」では、すし、和牛、ラーメンといったキーワードが出ていました。ムスリム対応の日本料理レストランが足りず需給バランスが崩れている今こそ、ビジネ

スチャンスと捉えるレストランは少なくないでしょう。食べたくても食べられなかつた、したくてもできなかつた渴望ニーズをいち早く取り込んだレストランが繁盛店になる可能性が高くなります。

動き出した「ポスト爆買い」

過去5年の年平均成長率が33%超という驚異的な伸びを見せた訪日外国人客数。その主体は中国人であったことは周知の通りで、その購買行動は“爆買い”と称されました。中国経済が減速する中でその行方が注視されていますが、今後も中国人客の重要性は揺るがないでしょう。

一方で、それだけに頼るいわゆる一本足打法では心もとない、次の対策を練らねばという中で注目されているのがムスリム客です。それにはハラール対応が必要。でも、これがなかなか難しい。それであればこそ、「できることから対応しています。ここまではしっかりとやっています。それで良かったら是非ご利用ください」という情報開示・伝達型の店舗が増えているのです。

ハラールメディアジャパンは、訪日ムスリム客の呼び込みに力を入れる地方都市を応援すべく「ムスリム対応 できることからセミナー」を各地で開催してい

ます。そこで出会う人々は、最初は戸惑いながらも徐々に自信を深め、本当にできることから一つずつ対応することで、「自分たちなりのおもてなしを再発見した」と口々に言います。中央に頼らない自力での地方創生。動き出したムスリムインバウンドは、そのきっかけの一つになっているのです。

＜筆者紹介＞

横山真也

Yokoyama & Company (S) Pte Ltd マネジングディレクター

ハラールメディアジャパン株式会社 共同創業者
ハラール関連事業としては2014年元日に「世界初の英語発信による日本ハラール専門ポータルサイト」HALAL MEDIA JAPANを開設、同年にはハラール・ベジタリアンレストラン検索サイト・アプリ HALAL GOURMET JAPANをサービスイン。国内初の国際的ハラールイベントであるJAPAN HALAL EXPOを14年と15年の2年連続で幕張メッセなどと共催。今年は新たに HALAL EXPO JAPAN 2016として単独開催、1万人を動員する。



NNA俱楽部 会報「アジア通」

ニュースを深く読み解く月刊の会報

各国・地域のペテンラン記者がストレートニュースではない価値ある記事を毎号執筆。一般の経済紙では見えてこない生のアジアをお伝えする巻頭エッセイのはか、セミナー・イベントの会員優待などをお知らせ。

NNA俱楽部ビジネスニュース

アジアの最新情報を確実にキャッチ

1日約300本の記事があるなかで、注目ニュースをまとめたのが「NNA俱楽部ビジネスニュース」。大きなニュースが発生した時には必要に応じて別途ニュースを配信、迅速な対応を支援します。

世界の成長センター、アジア。めまぐるしく変わる

ビジネスの「今」を楽しみ、深く知る機会を、

多くの人に――

そんな思いから NNA は会員サービス

「NNA 俱楽部」をスタートしました。

まずは「NNA 俱楽部」にご登録ください(無料)。

アジア現地ガイダンス

アジアの第一線で活躍する NNA スタッフ

「この国の可能性を知りたい」といった大きな問い合わせ、「スタッフ採用時に気をつけるポイントは?」などの具体的な疑問まで、現地事情に精通した NNA スタッフが該当の地域にてご案内。

セミナー参加・出版物の優待

ビジネスナレッジ獲得に欠かせない

実務に直結するセミナー・イベントを優先的にご案内。講師や参加企業との交流で得た人脈は、アジアビジネスの展開に役立つはず。NNA が販売する実務に役立つ出版物もご紹介します。

会員登録へ



共同通信グループ 株式会社エヌ・エヌ・エー

〒105-7209 東京都港区東新橋1丁目7番1号 沙留メディアタワー9階

【お問い合わせ】TEL: 03-6218-4330 FAX: 03-6218-4337 E-MAIL: nnaclub@nna.asia http://www.nna.jp/